

高度医療技術開発室

室長 是恒之宏

室員 安部晴彦

近年における医療を取り巻く情報処理や画像処理の技術革新により、診断、治療における医用画像診断装置の利用範囲は拡大しており、著しいイノベーションを引き起こしている。医用画像診断装置の技術開発により低侵襲化、従来視覚化困難であった部位や現象の画像化が可能になりつつあり、そこから新たな治療が生まれる可能性がある。これらの技術開発には医工連携すなわち病院、大学、企業との連携体制の構築が必要であるが、米国における産学連携の仕組みや組織と比較すると本邦ではまだまだ発展の余地が多いと言える。病院における医療現場のニーズを企業が保有している技術開発力や大学の基礎医学研究能力に結び付けながら、常に新しい高度医療技術の開発に取り組んでゆくことが、病院に付属する本研究室の最も重要な役割である。平成 24 年度より循環器系研究室員を配置し、医用画像診断装置の技術開発を大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座とともに推進した。

平成 27 年度は、院内臨床症例（特に心房細動症例、心不全症例）の心臓超音波画像解析も並行して推進した。平成 28 年度は、大阪大学医学部心エコーラボ、大阪大学医学部基礎研究チーム、大阪警察病院との連携による新たな研究体制構築を予定している。また、オーダーメイド医療のデータベースを用いた循環器疾患領域の研究も予定している。

【2015 年度 研究発表業績】

A-0

Abe H, Koretsune Y : New modified CHA2DS2-VA scoring system for Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation. *Circ. J* 2015;79:1682-4. 2015 年 6 月 24 日

A-2

安部晴彦、是恒之宏 : 同種薬の特徴と使い分けー抗血栓薬（経口抗凝固薬、抗血小板薬）「今日の治療指針」福井次矢、高木誠、小室一成 : P382-383、医学書院、東京、2016 年 1 月 1 日

A-4

篠内和也、安部晴彦、是恒之宏 : 非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬（NOAC）「*medicina* 2015 年 12 月号 ; 特集抗血栓療法ーおさえておきたい最新のエッセンス」中村真潮 : P2326-2329、医学書院、2015 年 12 月 10 日

安部晴彦、是恒之宏 : 心原性脳塞栓症の予防ーNOAC かワルファリンかー「動脈硬化予防 15 巻 1 号 ; 特集脳卒中治療の進歩」山口武典 : P11-16、MEDICAL VIEW、2016 年 3 月 10 日

B-2

Inoue H, Abe H, Yasumura K, Nishida H, Shinouchi K, Miura H, Koide M, Date M, Koretsune Y, Kusuoka H : Predictive factors for echocardiographic overestimation of aortic valve area by continuity equation in patients with severe aortic stenosis. European Society of Cardiology Congress 2015, London,

UK, 2015年8月30日

B-3

安部晴彦、増田佳純、浅沼俊彦、郡山 晃、是恒之宏、楠岡英雄、中谷 敏：短軸像および長軸像からみた左室内渦流の定性的・定量的評価：エコー粒子画像流速測定法を用いた検討。第63回日本心臓病学会、横浜、2015年9月18日

幸山佳津美、安部晴彦、大内秀雄、眞能正幸：検査室で遭遇する成人先天性心疾患の現状と問題点。第80回日本循環器学会学術集会、仙台、2016年3月20日

B-4

井上裕之、安部晴彦、廣岡慶治、古川哲生、三浦弘之、伊達基郎、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄：重症大動脈弁狭窄症で連続の式による大動脈弁口面積を過大評価する因子の検討。第88回日本超音波医学会学術集会、東京、2015年5月22日

西田博毅、安部晴彦、廣岡慶治、三浦弘之、須原 均、榊 雅之、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄：器質性僧帽弁閉鎖不全症の僧帽弁逸脱合併の有無による手術所見の相違に関する検討。第88回日本超音波医学会学術集会、東京、2015年5月22日

Koide M, Abe H, Yasumura K, Idemoto A, Shinouchi K, Miura H, Date M, Ueda Y, Koretsune Y, Kusuoka H : A case of acute decompensated heart failure with preserved ejection fraction treated by heart rate control. 第19回日本心不全学会学術集会、大阪、2015年10月23日

Yasumura K, Abe H, iida Y, Toriyama C, Inoue H, Nishida H, Idemoto A, Shinouchi K, Miura H, Koide M, Date M, Ueda Y, Koretsune Y, Kusuoka H : Mitral Annular Plane Systolic Excursion Predicts Rehospitalization in Heart Failure with Preserved Ejection Fraction. 第80回日本循環器学会学術集会、仙台、2016年3月19日

Inoue H, Abe H, Iida Y, Toriyama C, Nishida H, Yasumura K, Idemoto A, Shinouchi K, Koide M, Date M, Ueda Y, koretsune Y, Kusuoka H : Clinical characteristics of HIV patients diagnosed as acute pulmonary thromboembolism. 第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

幸山佳津美、安部晴彦、三浦恵子、谷口久美、吉田智子、吉田 梓、井上裕之、北林克清、中江昌郎、榊 雅之、上田恭敬、渡久地政茂、眞能正幸：大動脈置換弁の離開を繰り返した大動脈炎症候群の1症例。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

B-6

安村かおり、安部晴彦、鳥山智恵子、飯田吉則、西田博毅、井上裕之、井手本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：マラソン中に急性冠症候群を発症し、心配停止となった一例。日本循環器学会地方会、大阪、2015年11月28日

西田博毅、安部晴彦、飯田吉則、鳥山智恵子、井上裕之、安村かおり、井手本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：短腸症候群・人口透

析に合併したセレン、アレギニン低下により左室機能低下を認め、補充により改善した一例。
日本循環器学会地方会、大阪、2015年11月28日

井上裕之、安部晴彦、鳥山智恵子、飯田吉則、西田博毅、安村かおり、井手本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：担癌患者の持続性心房細動に対して NOAC 内服中に血性心嚢液を合併した一例。日本循環器学会地方会、大阪、2015年11月28日

井手本明子、安部晴彦、飯田吉則、鳥山智恵子、井上裕之、西田博毅、安村かおり、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄、是恒之宏：心拍数調整に難渋した頻脈誘発性心筋症によるうっ血性心不全の一例。日本循環器学会地方会、大阪、2015年11月28日

西田博毅、安部晴彦、井手本明子、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、是恒之宏、楠岡英雄：短腸症候群・人口透析に合併したセレン、アレギニン低下により左室機能低下を認めた1例。日本内科学会近畿地方会、京都、2016年3月26日

池知景子、井上裕之、安部晴彦、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、伊達基郎、上田恭敬、楠岡英雄：褐色細胞腫を疑わせる臨床経過をたどった高血圧性心不全の1例。日本内科学会近畿地方会、京都、2016年3月26日

B-8

安部晴彦：NOAC が有効と考えられた深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の一例。Meet the specialist 2015 大阪、2015年5月16日

安部晴彦：心不全予後における血管内容量の重要性。法円坂心・腎 医療連携フォーラム、大阪、2015年7月16日

安部晴彦：担癌患者の発作性心房細動に対して NOAC 内服開始9日後に心原性脳梗塞を発症した一例。第31回循環器談話会、大阪、2015年7月25日

安部晴彦：心不全の最近のトピックス。大阪市循環器セミナー、大阪、2015年8月6日

安部晴彦：心不全と高血圧。第1回法円坂循環器フォーラム、大阪、2015年8月20日